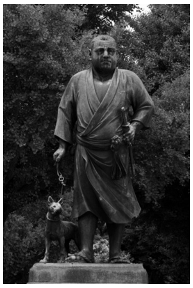
第16講　明治維新と立憲国家の成立
PART4 新政府への抵抗と自由民権運動の開始

Chapter 1　士族の反乱と農民一揆

目標
士族の反乱の原因は何だろう？
なぜ政府は地租改正反対一揆に対応して，地租を引き下げたのだろう？

1　士族の反乱


西郷隆盛銅像

①背景

A　**新政府への不満**

徴兵令・征韓論の敗北（1873年），

廃刀令・秩禄処分（1876年）などによる

特権の剥奪と経済的困窮。

B　**征韓派参議の下野（1873年，〔1　　　　　　〕）**

不平士族が西郷隆盛・江藤新平らの下に結集。

②展開

1874年　〔2　　　　　　〕（**江藤新平**〔前参議・司法卿〕ら）

※旧肥前藩士らが征韓党を結成して挙兵，江藤は処刑された。

1876年　神風連〔敬神党〕の乱（太田黒伴雄〔旧熊本藩士〕ら）

秋月の乱（宮崎車之助〔旧秋月藩士〕ら）→福岡県

萩の乱（**前原一誠**〔前参議〕ら）→山口県

※旧長州藩士らが挙兵，前原は処刑された。

1877年　〔3　　　　　　〕（**西郷隆盛**〔前参議〕ら）

※**私学校**生を中心とした最大・最後の反乱。

熊本鎮台を攻めるが落とせず，鹿児島に戻った西郷は城山で自害。

近代的な装備・訓練を受けた農民たち＝徴兵軍の実力が認知される。

木戸孝允が京都で病死

1878年　**紀尾井坂の変**

※〔4　　　　　　〕が暗殺され，「**維新の三傑**」は全て死没。

③結果

A　**西南戦争を最後に武力による反抗は終結**，以後は言論による自由民権運動へ。

B　西南戦争における莫大な戦費調達のため政府は不換紙幣を濫発，
インフレーション〔物価高〕を招く。

2　農民の抵抗

①原因→**新政府への不満**

A　開明的政策への不満
解放令（1871 年），太陽暦の採用（1872 年）など。

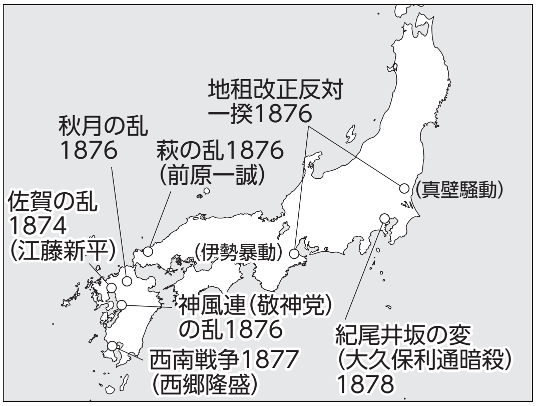
B　負担増大への不満
学制（1872 年），徴兵令・地租改正（1873 年）など。

②展開→〔5　　　　　　　　　〕の発生

A　**学制反対一揆**

B　**徴兵令反対一揆〔血税一揆〕**

C　**地租改正反対一揆**
特に **1876 年**には，低米価の中，過去の高米価も含め
平均化した地価を基準に地租を定めることに反発する大規模な一揆が各地で発生。
※農民一揆が士族の反乱と結びつくことを恐れた政府は，
1877 年に地租を
３%から 2.5%に引き下げた
（「竹槍でドンと突き出す
二分五厘」）。



新政府への抵抗

まとめ
士族の反乱の原因は，全ての特権の剥奪と経済的困窮だった。
政府は士族の反乱と農民一揆が結びつくことを恐れ，地租を引き下げた。

Chapter 2　自由民権運動の開始

目標
自由民権運動の思想的背景について知ろう。
民権運動がいきなり挫折したのはなぜだろう？

1　自由民権運動の背景

中江兆民

①**西洋思想の流入**

「東洋のルソー」**中江兆民**や
福沢諭吉などの啓蒙思想家たちによる,
フランス流自由主義やイギリス流功利主義の紹介。

②反政府運動の高揚

不平士族の反乱や農民一揆が多発。

③**征韓論の敗北（1873 年，明治六年の政変）**→征韓派参議５名の下野

〔1　　　　　　　　　　〕**（薩摩）**
〔2　　　　　　　　　　〕**（土佐）・後藤象二郎（土佐）**
〔3　　　　　　　　　　〕**（肥前）・副島種臣（肥前）**

2　自由民権運動の開始

1874 年,〔4　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を太政官**左院**に提出し,
自由民権運動がスタート。

①背景

内務卿**大久保利通**を中心とする薩長藩閥による「有司専制」に対する,
他藩出身士族たちの不満。

②人物

板垣退助・後藤象二郎・江藤新平・副島種臣ら８名が,
東京で**愛国公党**（日本初の**政社**）を結成して建白書に署名。

③建白書の内容

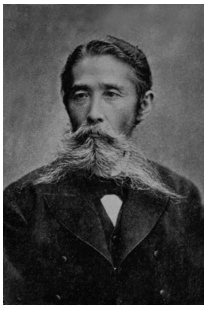
「維新の功労者」たる士族・豪農・豪商の参政権を要求。
※全文が『**日新真事誌**』（イギリス人ブラックが創刊した邦字新聞）に掲載される。

④民撰議院論争が全国に拡大→早期開設論と時期尚早論

⑤意義

政府には時期尚早と無視されたが，

以後発展する自由民権運動の口火となる。



板垣退助

⑥「士族民権」の展開

1874年 **民撰議院設立の建白書**を左院に提出し却下される

※愛国公党は解散，江藤新平と副島種臣が離脱。

高知で〔5　　　　　　〕を設立→板垣退助・片岡健吉ら

※福島の石陽社など各地で政社の結成あいつぐ。

1875年 〔6　　　　　　〕→〔7　　　　　　〕・木戸孝允・板垣退助

※**木戸孝允・板垣退助の参議復帰**が決定。

大阪で〔8　　　　　　〕を結成（第1回大会）

※各地の政社の連合組織。

漸次立憲政体樹立の詔

※〔9　　　　　　〕**・大審院・地方官会議**も設置される。

〔10　　　　　　〕**・新聞紙条例**

※妥協と弾圧により民権運動は一時沈滞。

板垣退助は半年後に再度下野。

大久保利通

1876年 元老院で憲法草案の起草開始→『日本国憲按』として完成（1880年）

1877年 **立志社建白**

※西南戦争中，社長の**片岡健吉**を総代に

国会開設・地租軽減・対等外交などの天皇への上表を試み，却下された。

※立志社の一部が反乱軍に加わろうとしたこともあり，運動は下火となった。

まとめ

自由民権運動の背景には，西洋思想の流入があった。

自由民権運動は，参加者が限られた「士族民権」から始まったことで

武力闘争と勢力が分散されてしまい，さらに妥協と弾圧が続き停滞した。

第 16 講　PART 4　確認問題

1　江藤新平らが起こしたのはどれか。

① 萩の乱　② 佐賀の乱
③ 神風連の乱　④ 秋月の乱

2　萩の乱を指導したのはだれか。

① 宮崎車之助　② 西郷隆盛
③ 太田黒伴雄　④ 前原一誠

3　紀尾井坂の変で暗殺されたのはだれか。

① 木戸孝允　② 西郷隆盛
③ 大久保利通　④ 前原一誠

4　武力による反抗はどの反乱を最後に終結したか。

① 西南戦争　② 萩の乱
③ 佐賀の乱　④ 秋月の乱

5　「東洋のルソー」と呼ばれたのはだれか。

① 福沢諭吉　② 中村正直
③ 中江兆民　④ 津田梅子

6 明治六年の政変で下野した土佐藩出身者はだれか。

① 副島種臣　② 後藤象二郎
③ 江藤新平　④ 西郷隆盛

7 民撰議院設立の建白書を提出した政党はどれか。

① 愛国社　② 立憲改進党
③ 立志社　④ 愛国公党

8 西南戦争中に，立志社の総代となったのはだれか。

① 片岡健吉　② 大隈重信
③ 木戸孝允　④ 江藤新平

第 16 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　①の**萩の乱**は前原一誠ら，③の**神風連の乱**は太田黒伴雄ら，④の秋月の乱は宮崎車之助らが起こした。

2 解答：④　①の宮崎車之助は秋月の乱，②の**西郷隆盛**は西南戦争，③の太田黒伴雄は神風連〔敬神党〕の乱を起こした。

3 解答：③　①の木戸孝允は病死し，②の西郷隆盛は**西南戦争**で自害した。④の前原一誠は萩の乱を起こし，処刑された。

4 解答：①　西南戦争を最後に武力による反抗は終結し，以後は言論による自由民権運動が展開された。

5 解答：③　①の福沢諭吉は『学問のすゝめ』を著し，個人の独立と実学の必要性を説いた。②の中村正直は啓蒙思想の普及に努めた。④の津田梅子は岩倉使節団に参加した女子留学生。

6 解答：②　①の**副島種臣**と③の**江藤新平**は**肥前**藩出身，④の西郷隆盛は薩摩藩出身。

7 解答：④　①の**愛国社**は全国各地の政社が大阪で結成。②の立憲改進党は大隈重信が結成。③の**立志社**は板垣退助・片岡健吉らが高知で結成。

8 解答：①　**片岡健吉**は，板垣退助を助け，愛国公党，立志社の中心として活躍した。